

小学六年

国語

解答と解説

1

問一	ツ
	ル
	ツ
	ル
	テ
問二	i
	オ
	ii
	ア
	iii
	エ

問三	A
	心
	こ
	こ
	に
	あ
	ら
	ず
	B
	う
	わ
	の
	そ
	ら

問四	③
	イ
	⑨
	ウ
問五	エ
問六	1
	男
	子
	は
	衣
	装
	2
	イ

問七	イ
問八	a
	縦
	b
	横
問九	エ
問十	堂
	々
	と
	衣
	装

問一	1
	ウ
2	ア
3	エ
問二	ア
	ウ
問三	イ

2

(配点)

- ①〔問二〕各2点、〔問四〕各3点、
他各5点
②〔問一〕各2点、〔問四〕各7点、
他各5点
③④⑤各2点

計150点

問四

と	と	を	特
を	る	肯	定
確	人	定	の
認	が	的	行
し	自	に	動
て	分	捉	を
安	の	え	行
心	他	つ	わ
す	に	つ	な
る	も	、	い
こ	複	同	自
と	数	じ	分
。	い	行	の
	る	動	決
	こ	を	定

40
41
42
43

		5		4		3										
⑥	乱暴	65	①	拡張	60	①	喜	55	①	あ	50	問七	ハ	44	問五	当
⑦	帰属	66	②	連綿	61	②	体	56	②	ぶ	51		ラ	45		事
⑧	招待	67	③	骨格	62	③	回	57		ら	52		ス	46		者
⑨	導	68	④	山脈	63	④	理	58	③	あ	53	問八	メ	47	問六	の
⑩	浴	69	⑤	録画	64	⑤	辞	59		げ	54		ン	48		心
										あ			ト	49		誰
										し			エ			か
										③			問九			と
										っ			ア			っ
										ば			問十			な
										④			エ			
										ひ						
										び						
										く						
										⑤						
										き						
										び						
										す						

【解説】

1 風野潮の『ぼくのワンピース』10分後にココロに効くアオハ

ルショートストーリーズ 自分だけの秘密 所収(フレーベル館)から出題しました。

以前からドールサイズの服を手作りするのが趣味で、かわいいものに興味がある「ぼく(翔太)」は、「男子なのに」へんなの〜と言われた経験があり、なるべくそのことを人に言わないようにしてきました。そんな「ぼく」が演劇の衣装係になり、同じく衣装係になった女子の林田さんとのやり取りを通じて自分の趣味について思いを新たにしている場面です。

問一 B1 具体化 関係づけ

線①の段階では、「キュプラ」というものについて、「裏地用の布である」という程度のことしかわかりません。したがって、文章を読み進めながら「裏地」「布」の話になったことがわかったところでその近くを精査するのがよいでしょう。しばらく「キュプラ」という言葉は出てきませんが、2ページの上段で『ドレスの布地はキュプラがいいんじゃない?』という、「ぼく」の心の内を書いた文に再度登場します。そのまま読み進めると、同じ2ページの下段で、林田さんが裏地のコーナーで足を止める場面に行き着きます。ここで、林田さんが「こんな感じのツルツルテカテカした布」とキュプラのことを表現しています。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問二 B1 関係づけ 比較

適当な副詞を空欄に入れる問題です。

i 直前でお調子者の雄矢が「ぼく」をからかい、その声に反応してクラスみんなが笑っています。笑うという動作に合うのはイ「くすりと」とオ「どつと」の二つですが、さらに前の「ふあつ、はい!」という「ぼく」の発言を受けてすでにみんなはクスクス笑っているの、イは合わないことがわかります。

ii 直後の「われに返った」が大きなヒントになっています。この場面で「ぼく」は、100円ショップに衣装関係の小物がたくさんあることに夢中になり、同行している林田さんをそっこのけで次々とレジかごに商品を放りこんでいます。それに自分で気づいたところですから、ア「ハッと」が当てはまります。

iii 林田さんの意見も聞かずに次々とレジかごに商品を放りこんだ自分の行動について「ぼく」は謝っていますが、林田さんは「べつにいいって」と返しています。ここは「そんなに気にしなくて大丈夫」という意味ですから、それを聞いた「ぼく」は「よかった」と安心して考えると考えられます。したがって、エ「ホッと」が入ります。

問三 A2 知識 関係づけ

ここでの「ぼく」は、シンデレラの衣装のことに気を取られ、目の前で役や係を決めていることにまったく反応できていません。A「(心ここに)あらず」、B「うわ(の)そら」で、どちらも「ほかのことに気をとられて、目の前のことに集中できていない」様子を表します。

問四

A2 知識 比較

語句の意味を答える問題です。最優先すべきは辞書の意味ですが、それを意識したうえで、今回の文脈ではどのような意味で使われているか、ということも合わせて考えましょう。

③「視線が泳ぐ」とは、凶星をつかれてうろたえ、思わずいろいろなところを見たり、何か一つに決めきれずに視線をあちこちに動かしたりすることを指します。ここでは、黒板の端から端まで見渡した中で、左半分に書かれた「スタッフ・係」の項目について、まだ担当者が決まっておらず空白のものを探しているので、イが正解となります。

⑨「偏見」の「偏」は訓読みで「かたよ（つた）」と読みます。

かたよった見方、すなわち根拠がなく公正さに欠けると思われる一方的な意見のことです。したがって、ウが正解となります。

問五

B1 具体化 比較

ここでの「ぼく」の気持ちは、前後に書かれた言動や「心の声」にはっきり表れています。「ぼく」は「林田さんの答えにかぶるくらいの勢い」で手をあげ、「王子様役で舞台上に立つのを回避できるなら、何係になってもいい」「むしろ衣装係なら得意」と考えています。積極的に衣装係をやりたいと考えているわけではないが、とりあえず王子様役だけは回避したいし、そのうえで考えると衣装係は自分にぴったりだと思っているということです。以上のことをふまえて選択肢を検討すると、エが正解であるとわかります。ア「興味がないわけではない」、

イ「この際仕方ないだろう」、ウ「実力を発揮して活躍できるはずだ」がそれぞれ誤っています。

問六

1 B1 具体化 関係づけ

最初は――線⑤のように考えていた林田さんでしたが、「ぼく」との会話を経て考えが変わっています。3ページ上段で林田さん自身がそのことに触れており、「そんなふうに決めつけてたあたしのほうが、キモい考えだったなあって今は思ってる」と言っています。◎の文を確認すると、 に入るのは当初の林田さんの思い込みであることがわかるので、字数も参考に探していきます。3ページ上段の「衣装係に男子がいても役に立たない」は内容として申し分ないですが、字数が合いません。これと同じ内容のもので字数条件を満たすものを探して読み進めると、4ページ上段に「男子は衣装作りの役に立たない」という表現が見つかります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

2 B1 理由 比較

林田さんが考えを変えた理由は、林田さん自身が語っています。特に3ページ上段の発言を参考にして選択肢と照らし合わせましょう。林田さんは「ぼく」の発言によって「いろいろアイデア出してもらって、すごく助かってる」「キモいდანて、思うわけじゃないじゃん」と言っていますから、イが正解であると考えられます。ア「人は見かけによらないものだ」、ウ「女子であっても衣装作りに興味を持たない人はいるものだ」、エ「男子と

しては変わっているが」がそれぞれ誤っています。

問七

B1 関係づけ 比較

林田さんといっしょに衣装の布地選びに来ている「ぼく」ですが、⑥の前後では、あまりはりきりすぎるとまた「へんなの」と言われるのではないかとおそれています。本当は知識があるのであれこれと口出しをしたいところ、グツと我慢しているのです。以上のことから、イが正解となります。ア「全く興味ない」、ウ「すぐにお手伝います」、エ「バリバリ仕事したいです」がそれぞれ誤っています。

問八

B1 関係づけ 知識

どちらも首をふって意思表示をしている場面です。

aの場面について、うっかり衣装にくわしいことを知られてはならない、と気をつけているものの、心のどこかで「ドレスを作るならキュプラ生地だ、と伝えたい」気持ちを持っていた「ぼく」は、林田さんがキュプラ生地について「こんな感じのツルツルテカテカした布でいいよね」と言ったのを聞いて「そう！ その通り！ よくぞ聞いてくれました！」という気持ちになっていきます。したがって、ブンブン音がしそうな勢いで首を「縦」にふり、同意する意思表示をしていることがわかります。bの場面では、「気分でも悪い？」と問われたことについて否定する意思表示をしていますから、「縦」と反対の「横」を入れ、「首を横にふった」という表現にします。

問九

B1 理由 比較

——線⑦の直後を読むと、「やばい、手芸のことなんかに

も知らないフリをするつもりだったのに」と「ぼく」の心の声がかかれています。そのつもりだったのに、「王子様の衣装って、どんな布にしたらいいんだろ？」という林田さんの問いかけに思わず反応してスラスラと見解を述べてしまったことについて、「ああ、これで自分が衣装作りにくわしいキモい男子だということを知ってしまった」と感じ、思わず口をおさえているのです。したがって、エが正解となります。ア「今回の衣装作りにも積極的に参加したいと思っている」、イ「林田さんのブライドを傷つけてしまった」、ウ「いい意見だ」という確信がある」がそれぞれ誤っています。

問十

B1 具体化 関係づけ

林田さんとのやりとりを通じ、「ぼく」は自分が今まで通り趣味を大切にしても問題ないんだ、という気持ちに変わっていきます。◎の文を確認すると、「今後は気にせず」とあることから、今後どう過ごしていこうと考えているかを意識して探しましょう。本文の最後から三行目に「でも、それでもぼくは、もう隠さずに堂々と衣装作りをしようと思う」とあります。これから字数やつながりを考えて「堂々と衣装作りをしよう」の部分抜き出します。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

② 石田光規『自己決定の落とし穴』（筑摩書房）から出題しました。

現代社会において、自分の行動を自分で決めることができるようになる場面が増えた一方で、「孤独・孤立」状態に陥る人も増えてきて、どのように対応していけばよいかが問われています。このことについて、様々な角度から考察した文章です。

問一 B1 関係づけ 比較

空欄に当てはまる接続詞を考える問題です。前後にどのような内容が配置され、どのようなつながり方をしているかということ意識して考えていきましょう。

《1》の前では、ある行為が迷惑かどうかは主観によって決まるものだし、対象となる行為は多岐にわたるので、厳密に言って誰にも迷惑をかけずに生活することは不可能である、ということが書かれています。これに対し直後では、お酒を飲む、あるいは電車内でスマホを見るとき具体的な行為が周囲にどのような影響を与えるか、ということ述べています。具体例を挙げていますから、ウ「たとえば」が入ります。

《2》の直前に、「もちろん『本当はやりたかったのだけれど仕方なくキャンセルした』という事態もあり得ます」とあり、直後に「『行けなかった』『食事をとれなかった』など『やろうと思っていたけどできなかった』という表現を使うほうが多い」という説明が続いています。「もちろん」。しかし……」という形で譲歩した後で逆接する形をとり、自分の主張を強調

する表現です。したがって、ア「しかし」が入ります。

《3》の前には、物的に豊かになることで、今まで協力が必要だったことが一人でできるようになる、ということが書かれています。直後には、今まで共有しなければならなかったものが個々人で持つことができるようになる、ということが並列して書かれています。したがって、エ「また」が入ります。

問二 B2 理由 比較

〃を用いた表現の意図を問う問題です。「〃」を使った表現と同じく、①強調、②引用、③発言の他に、④本来の意味とは異なる意味を意図した表現、という使い方があることに注意しておきましょう。ここでは、文字通りの意味で「一見迷惑をかけていないようには見える」ということと、「厳密なことを言うとそうではない」、つまり迷惑をかけていないように見えるだけで、何らかの迷惑はかけている、という筆者の意図を読み取ることができます。したがって、そのことについて触れているアとウが正解となります。イ「すべての人のあらゆる行為は他人に迷惑をかけるという前提のもとで行われる」、エ「どのような行為も迷惑ではない」、オ「どのような行為も迷惑にならずに行うことは可能」がそれぞれ誤っています。

問三 B1 関係づけ 比較

空欄に合うように「〇〇的」という表現を入れる問題です。それぞれの選択肢になっている言葉の意味を的確におさえておきたいところです。②は、直前の「個々人を尊重してい

ない態度として」から、「批判的」が入ります。⑤はほとんどの学生が情報処理室で課題をやる状況があり、当然課題が終わった後に食事に行くことも多かったということから「必然的」が入ります。⑨は「孤独・孤立」について「貧しい家に生まれても、まっとうに育つ人はいる」という言い方が、結局は「本人が頑張るかどうかで決まる」という自己責任につながる言い方であることから、事態をよい方向に向ける前向きな議論ではない、という意味で「建設的」が入ります。以上のことから、イが正解となります。

問四

B2 具体化 推論

「さまざまなライフスタイルの実現」は、ここでは、ふつう望ましいとされる行為をあえてしないという選択をし、実行することについて、積極的・肯定的に捉えることを指しています。これは、「キャンセル界限」という言葉の「キャンセル」によって表現される部分です。また、「界限」は「同じ行動をとる人が複数おり、グループの一員になることで安心感を得られる」ということを表現しています。以上のことを盛りこんでまとめましょう。

※設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点2点とします。

問五

B1 理由 関係づけ

「孤独・孤立」に対して政府が特定の部署を設け、対策を検討するということは、それだけ関心の高い話題であるということ

とです。対策が必要ということはどうかしなければならぬ問題を抱えていることであり、その問題とは何かを考えていくこととなります。◎の文に「医学的に」とあることから、医学の面から問題点について言及している部分を探しましょう。そのような観点から読み進めていくと、10ページ下段に「医学・疫学研究では、孤独や孤立が当事者の心身にマイナスの影響を及ぼすことが明らかになっています」と書かれているのが見つかります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問六

B1 具体化 関係づけ

「集団からの離脱」が起こったことで社会がどのように変わってきたか、ということを意識して読み進めましょう。10ページ上段で「集団からの離脱」は『イヤだ』と感じるつながりから抜け出しやすくなりました」と言い換えられています。これに続く部分で「つながりから抜け出しやすい社会は、誰かとながろうという前向きな意思をもたなければ、なかなか人とつながれない社会でもあります」と社会の変化について説明している部分があります。字数条件や空欄前後とのつながりを考えると、「誰かとながろうという前向きな意思」が答えとなります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問七

B1 関係づけ

⑦直後の「訴えられかねない」ということから、懇親会への参加を必須とすることは望ましくないことである、とい

うことが読み取れます。これと同じ話題は8ページ上段に出てきており、そこに「ハラスメント」という言葉が出てきています。これは「いやがらせ」という意味の言葉ですが、評論で頻出の単語ですので、しつかり意味を覚えておきましょう。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問八

B1 関係つけ 知識

⑧ 前後の内容から、ここには「ハーバード成人発達研究」を通じてわかった「喜びに満ちた幸福な人生を送り続けるための条件」に関する表現が入ることがわかります。研究によって「よい人間関係」こそが「喜びに満ちた幸福な人生を送り続けるための条件」であるとわかった、という文脈ですから、エ「唯無二」が入ります。

問九

B1 関係つけ 比較

抜けている文をもとの場所にもどす問題です。ヒントは抜けている文自体にあります。指示語や接続語、キーワードに注目しながら、どのような内容が書かれた部分とこの文がつながるかを検討しましょう。また、必ず実際に文をもどして読み直し、前後の内容が問題なくつながるかどうかを確認しておきましょう。

「個人化した社会」において「決定的に重要」なのはどのようなことか、ということ念頭に置いて「ア」～「エ」を検討していくと、社会が個人化したからこそ、自分と同じような行動をとっている人のグループがあり、複数の人と同じ行動をとることで安心感が得られる、という内容が見つかります。した

がつて、「ア」が正解となります。

問十

B2 抽象化 比較

本文の内容と合っている選択肢を答える問題です。本文のどの部分をもとに作られた選択肢かを考え、実際に本文にもどって照らし合わせ、正誤を判断しましょう。

エの内容は、9ページ上段の内容と合っています。ほかの選択肢については、ア「不用意に口を扶むのはできるだけ慎重べきである」、イ「これまでより濃い人間関係が求められるようになり」、ウ「積極的に評価していくことが必要」、がそれぞれ本文の内容と合いません。

③

A1 知識

□にひらがなを一字ずつ入れ、慣用表現を完成させる問題です。単に言葉自体を覚えるのではなく、意味や使い方もあわせて覚えておきましょう。

④

A1 知識

①～⑤の□に適切な漢字を補って四字熟語を完成させる問題です。こちらにも、③同様に音だけでなく意味もあわせて覚え、漢字で書けるようにしておきましょう。